

高校生 欠点对策コース

傾向と対策

学習カリキュラム

ポイント

基本戦略

◎ 年間スケジュール

学校行事	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目	5ヶ月目	6ヶ月目	7ヶ月目	8ヶ月目	9ヶ月目	10ヶ月目	11ヶ月目~12ヶ月目
トライ対策スケジュール	計算と英文				関数と時制		図形と品詞				年間の復習
	●1ヶ月目 【数学Ⅰ・Ⅱ】数と式、方程式と不等式 【数学A・B】個数の処理 【英語】品詞(名詞・動詞・形容詞・副詞) ●2ヶ月目 【数学Ⅰ・Ⅱ】二次関数(関数とグラフ) 【数学A・B】確率 【英語】be動詞・一般動詞・動詞の否定文・疑問文 ●3ヶ月目 【数学Ⅰ・Ⅱ】二次関数(最大と最小)【数学A・B】平面図形 【英語】自動詞と他動詞・4文型・時制(現在形・過去形・大過去形・未来系・進行形) ●4ヶ月目 【数学Ⅰ・Ⅱ】図形と計量【数学A・B】命題と論理 【英語】時制(現在完了・過去完了・未来完了)・助動詞				●5ヶ月目 【数学Ⅰ・Ⅱ】数Ⅰ総復習 【数学A・B】数A総復習 【英語】助動詞(慣用的な助動詞表現)・受動態(Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ文型の受動態・群動詞を使った受動態) ●6ヶ月目 【数学Ⅰ・Ⅱ】式と計算、高次方程式 【数学A・B】数列(等差数列・等比数列) 【英語】疑問詞と疑問文・命令文・感嘆文		●7ヶ月目 【数学Ⅰ・Ⅱ】図形と方程式 【数学A・B】数列(いろいろな数列・漸化式と数学的帰納法) 【英語】不定詞(名詞的用法・形容詞的用法・副詞的用法) ●8ヶ月目 【数学Ⅰ・Ⅱ】三角関数 【数学A・B】平面ベクトル(ベクトルの和差・成分・内積) 【英語】動名詞・分詞 ●9ヶ月目 【数学Ⅰ・Ⅱ】指数関数と対数関数 【数学A・B】平面ベクトル(ベクトルと図形) 【英語】分詞構文 ●10ヶ月目 【数学Ⅰ・Ⅱ】微分法 【数学A・B】空間ベクトル(空間座標・成分・空間ベクトルの内積) 【英語】関係代名詞と関係副詞				●11ヶ月目 【数学Ⅰ・Ⅱ】積分法 【数学A・B】空間ベクトル(空間ベクトルの応用) 【英語】比較と仮定法 ●12ヶ月目 【数学Ⅰ・Ⅱ】数Ⅱ総復習 【数学A・B】数B総復習 【英語】文法総復習
ポイント	目的：基礎学力の充実・平均点突破！ ポイント：●現状の学校進捗に追いつくための対策をとって生きます ●欠点状態の科目を脱出させます ●学習のやり方の指導を行なっていきます 点数アップ例：指導スタート時には30点台でも、取り戻し学習と定期テスト対策の両対策を1年を通して学習することで、平均60点程度まで上げることができます。										

◎Data Mining 【傾向と対策】

基本戦略	<p>(数学編) 数学ⅠA～ⅢCまでの方程式、関数、微分積分といろいろな分野がありますが、これらの基礎となっているのが全て正負の計算と簡単な方程式です。まずは、この分野を徹底的に繰り返し問題を解かせ計算力をつけさせます。徐々にステップアップしていきます。数学的な思考が問われる問題にもチャレンジしていきます。最終的な目標として数Ⅲの微分積分までできるように目標を立てることが望ましいです。</p> <p>(英語編) 赤点を取る生徒さんは、高校の英語の教科書がわかるためにも基本的な英文法を身に付けることが大切です。薄めの問題集を全て完全にわかるまで指導します。もちろん試験前は学校の教科書の内容も指導します。個人差はありますが、半年から1年くらい根気よく続けると安定して平均点やそれ以上を目指せるようになります。</p>
トライ式解決	<p>トライの過去25年間90万人を超える指導実績より、お子様の状況に合わせた指導方法をとること、そして確かな結果を残すことにこだわっています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ダイアログ指導で理解の徹底を行なう 2. エビングハウスの忘却曲線に基づいた復習方法で学習の定着を図る 3. エニアグラム診断を行い、お子様に合わせた学習方法を提案する 4. 系統別学習法を利用することにより効率よく点が取れる土台を作る 5. やる気を引き上げるため、「できる実感」を持ってもらう
提案	<p>家庭教師のトライでは、お子様のペースに合わせて回数・科目を設定させていただきます。週1回～、1科目から～欠点対策をご用意させていただいております。また試験前だけの特別追加授業もご用意しておりますのでご活用ください。また、どのペースで進めていくかはプランナーと相談させていただきます。例：現在高校1年生で数学Aで欠点あり⇒週1回の通常授業と試験前のみ追加授業を行い週2回で特別授業を行なっていく など。</p>
指導時間の使い方	<p>【習熟時間を設ける効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の問題をどのように解いているか確認することで、理解度の「深さ」を知ることができる。 ・問題を解く「クセ」を知ること、生徒に適した学習方法を見つけ出すことができる。 ・単元習得直後に習熟時間を設けることで、記憶に残りやすく忘れにくくなる。 <p>例：90分《前回の復習15分⇒旧単元復習30分⇒新単元習得30分⇒本日の復習15分》</p>

◎ このような生徒にお勧め！

- ・学校の定期試験で平均点をとりたい
- ・学習のやり方が身につけていない
- ・塾に通っているがどうしても苦手な科目がある
- ・以前の内容から復習したい

◎ 対象エリア

関西全域
 対象学年 高校1年生～2年生
 指導期間 スタートから半年～1年間

◎ 対策の特徴

- 【コースの特長】
- (1) 定期テストと取り戻し学習の両対策を行ないます。
 - (2) 教科書準拠の教材を使用することで、定期テストの点数アップを見込めます。

【対応教師】
 ベーシックコース
 セレクトDコース など